

平成 26 年度第 1 回 中野市子ども・子育て会議録

・日時 平成 26 年 7 月 30 日（木） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 45 分

・場所 中野市民会館 42 号会議室

出席者 委員 : 樋口美代子、高野次郎、武田栄子、西原芳子、高木 涼、湯本美奈子、
矢島由美子、藤澤 梢、西原優子、小林美英子、吉田 孝、三原 滋、
小林貴三子、平林伸一、伊藤 勇、西澤観有紀、神田茂貞

順不同敬称略

事務局 : 8 名

1 開会

2 あいさつ

(子ども部長)

本日は、公私ご多用のなか、夜分お疲れのところご出席を賜り御礼申し上げます。平成 27 年度から新たな子ども・子育てに関する制度が施行される。これに合わせ、各市町村には法律で子ども・子育て支援事業計画を策定することが義務付けられ、さらに計画策定にあたっては、子育てに係る方々から、ご意見をお聞きしなければならないこととなっている。そのため、お集まりいただいた皆様には、本年 7 月から 2 年間の任期で本会議の委員をお願い申し上げる次第である。現在、私どもは新たな子ども・子育てに関する制度構築について、国や県と調整を図りながら、手探りの中で事業を進めているところであるが、実際に子育てに関わる皆様方のご意見を知るなかで、円滑な制度導入ができるよう努力して参りたい。皆様には多岐に渡る視点でご意見等をお願いするとともに、夜分なので円滑なうちに議事が進むようご協力をお願い申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしくお願ひしたい。

《 事務局、配布資料の確認 》

3 子ども・子育て支援制度の説明等（資料 1）

《 資料に基づき、事務局より説明 》

4 協議事項

(1) 会長及び副会長の選任について

樋口会長 西原(芳)副会長 選任

(樋口会長)

会長という大役を仰せつかり、大変恐縮である。不慣れではあるが、精一杯職務を全うしたいと思っている。皆様のご協力をお願いしたい。

(西原副会長)

副会長ということで、会長をサポートしながら、協力させていただきたい。不慣れであるが、よろしくをお願いしたい。

(樋口会長)

次第に従い、会議を進めさせていただく。まず協議事項(2)について、事務局より説明をお願いしたい。

(2) 中野市子ども・子育て支援制度におけるニーズ調査の結果について (資料2)

《 資料に基づき、事務局より説明 》

(樋口会長)

協議事項(2)について、質問、感想、意見等をお願いしたい。
なければ、協議事項(3)について、事務局より説明をお願いしたい。

(3) 市が定めるべき基準について (資料3)

- ① 保育の必要性の認定に関する基準
- ② 特定保育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準
- ③ 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準
- ④ 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準

《 資料に基づき、事務局より説明 》

(樋口会長)

協議事項(3)について、質問、意見等あるか。

(高木委員)

とてもわかりやすい説明であった。中野市で唯一の私立保育園を運営している。私立は、現行どおり運営費をいただけるということであるが、標準時間の利用料は安くなるのか。現在、委託費でやっているが、短時間ということで、さらに安くなってしまうのか。

(事務局)

資料3のP5にある、「公定価格」というものがある。国が定める児童一人あたりに必要な経費ということで、保育単価に変わるものと認識していただきたい。本日、公定価格についての資料はないが、説明させていただくと、それぞれの施設の区分、あるいは保育の必要性の区分で詳細に設定されている。保育所の定員、規模により、保育短時間、標準時間それぞれ公定価格が定められている。その公定価格により委託料が算出され、支払われるという形になっている。

(高木委員)

標準時間が現行の保育単価ということか。短時間は今より下がるという認識で良いか。

(事務局)

単価については、公定価格の短時間と標準時間を比べた場合、標準時間が高くなる。新制度施行に合わせ、保育の質の向上を重要視しているため、保育士等の人件費の向上等を踏まえた公定価格が設定されている。現行の保育単価と比較していただくと、そのあたりの充実度を伺うことができるのではないかと思います。

(湯本委員)

今年度から認定こども園になった。平成 27 年度から内閣府が一括した新しいシステムの認定こども園になった場合、認定が受けられることになる。先日、保護者に向けて説明をした際に、保育料についての質問があった。先ほどの話は運営費についてであり、1号認定の幼稚園教育の標準時間は上限が 27,500 円となっており、今より安くなるが、2号認定については、今の保育料よりも上がることになる。標準時間と短時間では 3 時間も違いがある。しかし、保護者負担の保育料の差は、低いところでは 400 円、最高額は 1,000 円ほどにしかない。16 時 30 分まで預ける人も 18 時 30 分まで預ける人も 4～500 円の差しかなければ、仕事に就き、標準時間を選択する人が増えてしまうと思う。アンケート調査の結果も、16 時 30 分までの保育時間の希望者が多いことから、ぜひ公費を使い、手厚い処遇をしていただけるよう希望したい。

(事務局)

貴重なご意見として承りたい。これから保育料を設定していくので、参考にしたい。

(樋口会長)

他に質問がなければ、協議事項(4)について、事務局より説明をお願いしたい。

(4) 地域子ども・子育て支援事業について

《 資料に基づき、事務局より説明 》

(樋口会長)

協議事項(4)について、質問、意見はあるか。

(高木委員)

市で行っている事業がわかりやすかった。ニーズ調査の中で、子育て支援センターの日曜、祝日の利用をもっと調べてほしい。小布施や長野の子育て支援施設は混んでいるため、ニーズは高いと思う。中野市でも改めて調べてほしい。病後児保育は利用者が年々増え、認知度が高くなってきた。ただ、利用料を詳しく知らない方が多いということが意外であった。ひよこ保育園は無料で実施していることを、市からも広報していただきたい。

(事務局)

中野市の子育て支援センターについては、3施設とも日曜日は休みとさせていただいている。それ以外に、それぞれのセンターで、平日を公務の休みとしている。中央については日曜日と火曜日、北部については日曜日と月曜日、豊田については日曜日と水曜日を定休日として設けている。日曜日の利用については、追々検討していきたい。

(樋口会長)

他にあるか。

(伊藤委員)

延長保育について、地域子ども・子育て支援事業の概要で、私立では延長保育をやっていないような表現なので、我々私立もやっていることがわかるようご配慮願いたい。あと、ファミリーサポートセンターの内容について、わからない部分が多いため、情報を提供していただきたい。

(事務局)

1点目の延長保育の表現については、大変失礼した。幼稚園を排除するつもりはなかった。以後気をつけたい。ファミリーサポートセンター事業については、子育て支援センター等で広報をしているが、幼稚園や認定こども園での広報のお願いは、実施したことがなかったため、要望の把握ができていないのが現状である。園と連絡を取りながら情報を提供し、今後の検討課題としていきたい。

(樋口会長)

他にあるか。

(湯本委員)

一時預かりは、保護者たちが緊急時に利用料を払い、預けるシステムなので、認定こども園と幼稚園には該当しないのではないかと。子育て支援として預かり保育をやっているもので、一時的に困難となった乳幼児については、認定こども園と幼稚園は省いたほうが良いのではないかと。思う。

(事務局)

この表記は国から示された内容に基づき、幅広く全国的にという意味で載せたことを了承いただきたい。

(樋口会長)

他にあるか。なければ「協議事項(5)その他」について、事務局より説明をお願いしたい。

(5) その他

(事務局)

今後の開催について、10月と来年の1月または2月を予定している。現在の予定であり、今後の県の指導等により、前後する可能性がある。今後、保育料の設定を行っていくなかで、回数が増えることも考えられることを、了承頂きたい。本日の会議で、資料を出し、説明させていただいたが、会議終了後に質問、疑問等があれば、市役所まで連絡いただきたい。

(樋口会長)

委員さんから、何か質問等あるか。

(高木委員)

次回10月と聞いたが、他市町村と比べると少ないのではないかと。9月に議会があり、市町村独自の条例策定をするなかで、10月というのは遅い上、少ないのではないかと。

(事務局)

目指しているところは、会議でも申し上げたとおり、支援事業計画の策定で、そのために意見を聞いている。他市町村と比べると出だしが遅いというご批判もあったが、不確実な情報よりも確実なところを、お見せしたいという思いがある。ご指摘として受け止めるが、これから皆様のご意見をいたくなかで、円滑な制度の導入ができるよう努力して参りたい。10月と申し上げたが、必要に応じて回数を増やし、開催していく予定である。

(樋口会長)

他にあるか。

(高木委員)

今年の3月に、全国で子ども・子育て会議を開催した割合は、86%だった。中野市は、他よりも出遅れているという意識を持ってほしい。来年度からの支援制度施行に向けて、焦りを持ってやっていくべきではないかと思う。

(樋口会長)

他にあるか。

(矢島委員)

子どもを持つ親としては、会議の開催時間はもう少し早くしてほしい。

(事務局)

時間の設定については、皆さんの仕事の関係、お子さんの有無等いろいろ検討した上で、夜分の開催とさせていただいている。出来るだけ皆様のご希望に添える時間設定を検討していきたい。

(樋口会長)

他にあるか。ないようなので、本日の協議事項を終了とする。議会の円滑な進行に協力いただき、感謝申し上げます。

(事務局)

本日は貴重なご意見、ご提案について感謝申し上げます。「第1回 中野市子ども・子育て会議」を閉会する。次回もよろしくお願ひしたい。

5 閉会